

<生活科学部>

2014年度卒業論文題目

家族福祉学

1. ワーキングマザーと子どもたちのための福祉
——よりよい子育て環境を目指して——
佐治亜弥香
2. 親子間のコミュニケーション——子どもの心の
成長——
古永 夏来
3. 社会的養護の展望——「里親制度」に視点を当
てて——
杉本 奈央
4. 繰り返される貧困——子どもの未来を守るには
——
緒方 萌子
5. 男性のワーク・ライフ・バランス——両立支援
と働き方の見直しに向けて——
森 美里
6. 虐待を受けた子どもへの施設支援——愛着障害
の視点から——
東村 朋美
7. 高齢者の孤独死——地域とのつながりに視点を
あてて——
平松沙穂里
8. 「ゆるキャラ」の流行から見えてくるもの——
キャラクターの可能性——
布村 晃子

社会心理学

1. 女子大学生における被服色嗜好性——色彩意識
とサーカディアンリズムの影響——
高野 志帆・田中 香帆
2. 女子大学生における親準備性傾向の形成——幼
少期における被虐待経験の影響——
森 奈保子
3. 幼少期における父親・母親に対する愛着経験が
青年期の愛着スタイルにおよぼす影響——きよ
うだい構成の効果——
石川 怜奈
4. 娘の性格特徴認知における視点の差異——本人
評価と父親・母親による評価との比較——
舘野 史子
5. テーマパークによって喚起される非現実感覚が
来園回数におよぼす影響——TDL と USJ との
比較——
荒木 智子
6. 携帯メールにおける顔文字添付が感情歓喜にお
よぼす影響——関係の親密さと顔文字の適切さ
——
溝下 加純

被服学

1. イレズミのファッション化と国内における偏見
増田 恵美
2. 誰からも好感をもたれる服装とは——キャサリ
ン妃の服装を事例として——
川俣 ゆか
3. リネンの種から生地ができるまでと暮らしの中
のリネン
飛田 もゆ
4. 家庭生活における女性の手仕事の変遷
青木 藍
5. ネイルの歴史と流行の変遷
原田 麻世
6. テディベア——母性・父性本能を引き出す象徴
としての子熊——
岩脇 帆南
7. 竹久夢二による和装表現——「夢二式」からみ
る和装美の追究とデザイン——
太田 慧
8. 衣服の選択肢にみるジェンダー——洋装婚礼衣
装における色の選択の幅——
小岸 祐衣
9. 下着のファッション化——下着と心の関係——
板敷沙也香
10. アニメーション映画の製作について——ディズ
ニープリンセスから——
駒 祐希
11. リクルートスーツはなぜ黒いのか
猪川 幸枝
12. コスプレで繋がるコミュニケーション
松田 滯奈

児童文化

1. 『母たちの村』で描かれる女性ヒロイズム——
アフリカ人女性が育てる子どもと未来——
平井 若菜
2. 陰の主役ディズニーヴィランズの魅力——波乱
のストーリーを引っ張る悪役の世界——
原田 雅世
3. 『風立ちぬ』“生きねば”のメッセージから読み
解く——「技術」と「結婚」という二つの生き
方を通して——
柴谷 依里
4. 自分らしく生きるための方法とは——『魔女の
宅急便』が教えてくれること——
黛 尚
5. 『トムとジェリー』の「ケンカ」の意味——生
き方の異なる存在の「やりとり」が教えてくれ

- ること—— 柴野 友里
6. クレヨンしんちゃん映画『オトナ帝国の逆襲』が描く“ホームドラマ”——日本映画を受け継いだ原恵一が手がけた異色の映画——北村みなみ
 7. 『ゲド戦記』から「影」を見つめる——「生きなかつた自分」と生きていく私—— 嶋本 芳
 8. 『コクリコ坂から』から読み解く現代の家族——多様化する家族の中で生きるということ—— 市田 志歩
 9. クマのプーさんの魅力——プーのおばかさんの秘密—— 中原優里奈
 10. ターザンの強さに迫る——弱さから見えてくる真の強さ—— 新垣 仁美
 11. 手塚治虫×『鉄腕アトム』から見る絶望と希望——二面性を持つ仲介者アトム—— 佐原 紫織
 12. 『ホビットの冒険』—ゆきてかえりし物語——ファンタジーについて考える—— 貴堂 瀬奈
 13. 『ドラゴンボール』から見る多様な死と再生——仲間・家族と共に生きる—— 垂水香菜子
 14. 『かいじゅうたちのいるところ』はどこにあるのか?——子どもたちに大切な Wild things を考える—— 菊妻明日美
 15. 『チョコレート工場の秘密』に秘められたメッセージ——甘いチョコレートのビターな現実とホワイトな展望—— 林 真未

流通経済学

1. 音楽・ダンス等の表現活動の重要性とその効果——インド・ムンバイのスラムの子ども達への自立支援活動を通して—— 清水ゆりか
2. 日本における育児期の女性就労および労働条件・労働環境の実態と課題 高橋 亜希
3. 現代社会におけるシニア世代の巨大購買力とマーケティング戦略 高安 真央
4. 遺伝子組換え (GM) 食品の安全性問題と安全対策 歌代かれん
5. 企業の社会的責任 (CSR) マネジメントの歴史及び現状と課題 脇谷 彩
6. ファストファッションの弱点および改善方向と今後のビジネスモデル 武田 久実
7. 日本におけるパン食文化の歴史と原材料の自給率およびパン生産・消費の展開 本川 泰子
8. 日本経済の景気変動と広告ビジネスの展開——リーマンショックからアベノミクスまでの変遷

- と将来展望を中心にして—— 井上茉莉乃
9. 大阪・梅田地区における大型商業施設等の集積と百貨店の生き残り戦略及び課題 橋田 真衣
 10. 性表現をめぐる表現の自由と刑事規制の優位性問題と課題——チャタレー事件の判例を中心にして—— 小谷梨花子
 11. 女性の社会進出にともなう仕事と生活の両立対策の課題——日本の未来を担う新たな主役たちへの社会的支援—— 西山 彩
 12. 地球温暖化の仕組みおよびその影響と防止策——IPCC 第5次評価報告書に基づいて—— 大森由美子

住生活学

1. 視覚・触覚によるカーテンのテクスチャーと室内雰囲気評価に関する研究 西野 文菜
2. モダンデザインの背景を探る——パウハウスにおけるデザイン概念の誕生—— 垣本 晴香
3. 歴史的景観保存地区における建築物外壁のエイジングとファサードの好ましさに関する研究 村田 有理
4. 格子越しの景色の美しさと格子デザインの関係 山野 友里
5. 片頭痛をもつ人がくつろぎやすいLED照明環境の検討 楠 美穂
6. 夜間街路歩行時の歩行者の顔の視認性に関する研究 杉本 綾香
7. 加熱調理による食肉の色彩変化——照明光色の違いが食肉の色の見えに与える影響—— 塩見 里彩
8. 調理品をおいしそうに見せるLED照明条件に関する検討 青木みのり
9. まちなか観光における京町家の果たす役割——韓国人観光客による町家カフェファサード評価に着目して—— 辻澤 香奈
10. 京都におけるモダンカフェファサードの魅力に関する研究——ファサード構成要素がカフェの評価に与える影響—— 野村 麻衣
11. 色彩豊かな街並みを構成する外壁の色彩に関する調査研究——イタリアの世界遺産チンクエ・テッレを対象として—— 米川加奈子
12. 紙の質感が色の見えと印象に与える影響 長瀬 杏子
13. 生活空間における色順応に関する研究——光色

＜生活科学部卒業論文題目＞

変化による順応所要時間—— 吉岡 夏美

住 文 化

1. 日本建築における色壁——角屋の色壁意匠と左官技術のこれから—— 中村 花穂
2. 近代女学校寮を通して見た住生活の洋風化——同志社女学校、デントン・ハウスを中心に—— 中西 美香
3. 建築家ヴォーリズの著作からみる住宅思想とその反映——「健康」と「思いやり」から—— 小川 千晶
4. 日本の住まいが片付かない要因——『婦人之友』の特集記事から—— 岡田 咲弥
5. 錦華寮の研究——北尾春道にみる数寄屋の伝統と近代化—— 浦 万菜美
6. 二楽荘本館の室内意匠——五カ国の部屋にみる建設意匠—— 山本 有沙
7. 中世絵巻にみる床の間の使用方法——場の性格と人々の座所を中心に—— 岩田真由美
8. ヨーロッパにおける DOLL HOUSE——室内意匠にみる中国・日本の影響—— 兼田 美咲
9. 奈良・京都の寺院における浴室研究——「施浴」にみる日本古来の入浴—— 木村 文香
10. 隠岐島における船小屋の分布と建築——人と海との共生を目指して—— 木下 緑
11. 日本の伝統的化粧における眉——絵巻物と近世版本の女性像を中心に—— 呉羽 真布
12. ムーミンハウスに示された住生活——北欧の暮らしを背景に—— 前田 晴菜
13. 現代の旅館雑誌にみる客室の変容——これからの旅館の役割とは—— 三村ゆりの

生 命 倫 理 学

1. 子どもらしさの育成——地域社会のつながり—— 辻中 歌
2. コンビニエンスストアと「待てない」社会 名古屋のみ 清 智咲
3. 普通という心地良さ 清 智咲
4. 過去の「私」を見る私——残された写真を巡って—— 阪上 希
5. ストリートダンスの表現をめぐる——装いが与える影響—— 中村くるみ
6. 近未来の陰翳——フィクションの鳴らす警鐘—— 金田真莉子

7. 運動部活動で築く自己——競争社会で生きる精神力—— 川根 知佳
8. リアルをうつす他者——自分の本質と向き合う—— 山野 里奈
9. 変化する若者の恋愛——問われるコミュニケーション能力—— 北川 佳波
10. 苦痛は悪か——近代化社会の明暗を見つめて—— 瀬戸紗耶香
11. 人格形成と家庭の在り方——生きづらさを抱える大人たち—— 森田あいら
12. 異文化学習がかたちづくる自己——英語教育で日本人は育つのか—— 森崎 桂

食 品 物 性 学

1. 尿素糊化された米澱粉分散液の粘度増大過程 中嶋ひとみ・尾田 春菜
2. 米澱粉の尿素糊化と尿素吸収 水上 美咲・中井 美希・大久保咲枝
3. 米澱粉の NaOH 糊化と Na 吸収 阿部佳奈恵・高橋あずさ

食 品 加 工 学

1. マルトース修飾鶏筋原線維タンパク質の機能改変とゲル形成性について 湯川 絢子
2. リボースを用いた糖修飾鶏筋原線維タンパク質の機能改変について 土久岡美咲

調 理 学

1. 干し操作が野菜の栄養成分に及ぼす影響——ダイコンの Ca 量とニンジンのカロテノイド量について—— 倉 幸・近藤 香・西堀 智晶
2. アスパラガス中の葉酸の抗酸化性と血栓溶解性の検討 川端優里香・野間 晶子・徳永 愛
3. 茹で水中への食塩添加がスパゲティの硬さに及ぼす影響——スパゲティへの水分吸収について—— 角谷 彩香・片岡 詩織・佐藤 晴菜

調 理 科 学

1. 醤油のにおいが塩味・甘味に及ぼす影響 浅井 奏・西村 美優・西村 紗貴
2. 含め煮におけるうま味強度への IMP・MSG の関与——冷凍サトイモの場合—— 前田ひかり・夏目 佳苗
3. 鶏・鶏がらと野菜・香辛料由来の成分間相互作用

用が減塩効果に及ぼす影響

末光 由香・田邊真菜美・田中 絢子

4. 高齢者サークルに対する健康づくり支援とその効果の検討 澤田 依里・吉村 実咲

運動生理学

1. 登山におけるそれぞれの山の特徴が身体に及ぼす影響 平井 佑果・倉本 春香
野口 絵理・山中菜由奈
2. 15週間のヨガトレーニングによる身体の柔軟性等の変化 伴 美里・江崎 優・井上りつ子
小林真衣佳・長井真奈未

公衆衛生学

1. 女子大生における幸福感とその関連要因 高橋 史恵・中居 紗希
寺川 萌・上田 歩実
2. 近年の食塩、カルシウム、脂質関連の摂取量に対する食品群別寄与率の検討 伊藤 咲希・中嶋 倫子

栄養生理学

1. 食農・食育活動による児童の食意識や態度、食行動の変容 馬上 夏穂・増田 衣里・吉川 縁
丹橋真優子・堀口 史織・馬淵 礼美
2. SNSを情報提供の方法として活用した栄養教育法は有効か 丹橋真優子・堀口 史織・馬淵 礼美
3. 5/6腎臓摘出ラットにおける腎機能増悪予防効果のある海藻類とその成分の探索 吉留 礼華・武田 愛・瀧本 亜姫

実践栄養学

1. 朝食における児童の調理行動を促すための食育教材を用いた介入 森石 咲紀・青見 柚加・久後瑛梨奈
2. 継続的に軟菜食を摂取している施設高齢者の亜鉛を含む栄養素摂取量の評価 梶原美弥子・川口 里穂・北原百合恵
3. 食事形態評価に基づいた軟菜食用の鶏肉調理法の検討 渡邊 英美
4. 高齢者向け軟菜食のレシピ改良による鶏肉摂取率の変化 天野 利紗・桑野 由紀・吉澤 咲

給食経営管理學

1. 調理方法の違いによる水溶性ビタミンの大根試料中の含量と調味液への溶出量の比較——スチームコンベクションオープン加熱と真空調理加熱について—— 今西 恵里・貝原 智美
中谷 公美・妹尾 絢子
2. ビデオ教材を用いた学習が食事計画実習を履修する学生の衛生管理に関する習得度に及ぼす効果 飯田 彩佳・望月 麻由・齊田果歩莉
3. 男子高校生の天然だしに対するうま味感受性と食への興味・関心との関連 内藤真由子・大高 萌・徳満麻衣子

臨床栄養学（伊藤）

1. 卵、牛乳、小麦を使用しないプリン、茶碗蒸し、うどんの作製 櫻坂 志穂・細見杏咲子
2. 学校給食における食物アレルギー対応献立の検討 喜多村桃子・佐藤 麻衣・鷺野 友花
3. ソルビン酸を中心とした食品添加物に関する文献的考察 家本 祐子・勝本美奈子
4. 卵、牛乳、小麦を使用しない洋菓子の作製 居平 京弓・今井 彩・松本 優里

公衆栄養学

1. 大学生がサポートする小学校での食育活動の有効性 坂尾 香衣・橋本 舞・高橋 優奈
2. iPhone 用食事記録アプリの改良とその有用性 光岡 佑奈・高井なつみ
3. 食育カルタやお便り等による園児及び保護者の食意識の変化について 齊藤 里穂・金谷 愛子・森 詩乃

臨床栄養学（小松）

1. 健診結果を用いた飲酒習慣が無い者の脂肪肝リスクの検討 立岡 瑞穂
2. 特定保健指導における行動科学的考察および効果的な支援方法の検討 橋口由起子
3. 心不全患者の病態と栄養状態の関連性についての検討 阿部 仁美
4. 摂食障害のチーム医療における管理栄養士の役割に関する実態調査 塚本 由紀
5. 嚥下性肺炎患者の栄養管理の経験——栄養補給法が異なる2症例—— 福村 佳織・弘内 優帆

＜生活科学部卒業論文題目＞

6. 外来化学療法患者における栄養状態と食生活の実態調査 安井 裕香
7. 正期産児の出生体重に影響を及ぼす母体背景要因と食生活の検討 黒田 麻由
8. 血液透析 (HD) 患者における透析間の体重変化に及ぼす食塩摂取の影響 岡野 沙季・坂 友梨枝
2. ビートレッド (*Beta vulgaris*) のカルス細胞によるベタレイン色素の生合成 佐藤 萌・志宇知彩世
3. 紅イモの新品種「ちゅら恋紅」(*I. Batatas cv. churakoibeni*) に含まれるアントシアニン色素の構造 徳永亜以子・山神 萌
4. アルデヒド基を有する香気成分がアガロースゲルに与える影響 水野希美子・瀬河 三貴

栄 養 化 学

1. マウスにおける抗ストレス作用に及ぼす緑茶粉末の影響 石川はるか・笹山 侑加・吉岡 由希
2. コレステロール添加高脂肪食投与ラットの肝脂肪蓄積に及ぼす「べにふうき」緑茶の影響 藤本 楓・川上 咲
白井麻里子・古屋 莉菜
3. バラコート誘発酸化ストレスラットに対するシヨウガ粉末の抑制効果 三谷 友樹・柴原 夏海・寺田 佳世

生 化 学

1. 一本鎖 Fv(scFv) 抗体遺伝子へのポリスチレン結合ペプチド (PS タグ) の導入および発現条件の検討 中出亜衣子・大西 美穂・矢野下千紗
2. 一本鎖 Fv(scFv) 抗体への緑色蛍光タンパク質の導入および発現の確認 和泉 綾華・西本 喜重・鶴崎真由子
3. 抗プロスタグランジン E₂(PGE₂) 一本鎖 Fab(scFab) 抗体における酵素免疫測定法 (ELISA 法) の確立 有沢裕梨香・藤原 亜衣・田畑 直子

食 品 分 析 学

1. フェネル (*Foeniculum vulgare*) に含まれる魚臭 TMA 抑制成分の検索と構造解析 濱本 恵・池田 美雪・北野 真那

食 品 微 生 物 学

1. 生ラズベリー of 総アントシアニンとエラグ酸における抗変異原性の検討 永井 千秋・山本 夏実
2. 自家培養および市販天然酵母のマイクロフローラ解析 相川 祐・新居ひろみ・田中美美子

食 品 化 学

1. サルモネラべん毛特異的分子シャペロン FliS 欠損が及ぼすべん毛繊維の長さ and 運動機能の相関 森 遥子
2. 嫌気性超好熱性古細菌のキチン代謝系に関与する二糖脱アセチル化酵素の酵素活性及び基質アナログ複合体の立体構造解析 井田くるみ
3. 部位特異的変異導入を用いた超好熱性古細菌由来ペルオキシレドキシンの四次構造の改変 嶋村 明子
4. X 線及び中性子線を用いた植物型フェレドキシンの超高分解能構造解析 佐藤 有紗
5. スクレオソーム作製と作製したスクレオソームを用いたエピジェネティクス制御機構の解析 大西 舞・山崎 冴果
6. サルモネラべん毛タンパク質輸送の速度論的解析 坂口 彩
7. 超好熱性古細菌 *Pyrococcus furiosus* 由来グルコサミニダーゼの結晶学的研究 北田 千晶